

(2) FD 集会（令和元年 7 月 31 日）

「授業支援アプリ『ロイロノート・スクール』を使ったワークショップ」

【企画の趣旨】

「主体的・協同的な学び」を実践できる教員の養成のためには、今後、ICT 活用指導能力がますます必要になってきます。シンプルで簡単な使い方で、先生の授業アイデアを実現し、学生・生徒・児童が自ら考え、その考えを人に伝えることができるようにするためのタブレット利用型授業支援アプリの利用が増えています。そのような授業支援アプリの一つとして「ロイロノート・スクール」があり、本学 AL プロジェクトで貸し出している iPad でも使用できるようにしています。ロイロノート・スクールは、今年 3 月にシンキングツール機能が追加され、ますます、使い方の幅が広がっています。

昨年度、ロイロノート・スクールのワークショップ型研修を行い、大変好評だったため、今年度も株式会社 LoiLo より講師をお招きして、ロイロノートを体験しながら、実際の授業で活用するイメージを持っていただくことを目的としたワークショップ型研修を企画します。

【実施概要】

開催日：2019 年 7 月 31 日（水）

開催時刻：13:30～15:00

場所：愛知教育大学 本部棟 第一会議室

参加対象：大学教職員及び学生・一般

集会タイトル：「授業支援アプリ『ロイロノート・スクール』を使ったワークショップ」

講師：澁谷 洋平（シブヤ ヨウヘイ）氏
株式会社 LoiLo ICT コンサルタント／営業

ICT教育基盤センター・教職キャリアセンター共催

全学FD集会

授業支援アプリ

ロイロノートSCHOOL

を使ったワークショップ

ワークショップを開催します

「主体的・協同的な学び」を実践できる教員の養成のためには、今後、ICT活用指導能力がますます必要になってきます。シンプルで簡単な使い方で、先生の授業アイデアを実現し、学生・生徒・児童が自ら考え、その考えを人に伝えることができるようにするためのタブレット利用型授業支援アプリの利用が増えています。そのような授業支援アプリの一つとして全国の多くの中学校で利用されている「ロイロノート・スクール」があります。ロイロノート・スクールは、今年3月にシンキングツール機能が追加され、ますます使い方の幅が広がっています。

株式会社LoiLoより講師をお招きして、ロイロノートを体験しながら、実際の授業で活用するイメージを持っていただくことを目的としたワークショップ型研修を開催します。今年度は、全員が先生役も体験できる内容で行う予定です。

日時 2019年 7月31日 水
13:30～15:00
(受付:13:10～)

場所 本学 本部棟3階 第一会議室

講師 澁谷 洋平氏
(株式会社LoiLo ICTコンサルタント/営業)

参加費 無料

参加申込み方法：下記E-mailアドレスへ必要事項を入力の上、お申込みください。
Web版のQRコードからも申し込み可能です。

E-mailアドレス shibuya.yohpei@loilo.co.jp

必要事項 氏名(全角カタカナ) 所属(学校名・団体名等) E-mailアドレス

※タイトルに「ロイロノート・スクールを使ったワークショップ参加希望」とお書き添えください

締め切り：2019年 7月4日(水)7月30日(火)まで延長

※申込みがなくても当日受付があります。
参加人数(90名)より多くご来場の場合は、限りで見学いただくか、2人1組での参加となります。

主催 愛知教育大学 企画 愛知教育大学 企画 愛知教育大学 企画

TEL 0566-26-2717

【プログラム】

時刻	時間	項目（タイトル）	担当者
13:10～		受付開始	
			司会：齋藤先生
13:30～13:35	5分	開会挨拶	西洲教職キャリアセンター長
		講師紹介	齋藤先生
13:35～14:55	80分	ワークショップ 「授業支援アプリ『ロイロノート・スクール』 を使ったワークショップ」	(株)LoiLo 澁谷 洋平氏
14:55～15:00	5分	閉会挨拶	ICT 教育基盤センター ICT 教育支援部門長 江島先生

【開催報告】

2019 年 7 月 31 日 FD 集会「授業支援アプリ『ロイロノート・スクール』を使ったワークショップ」を開催しました。

7 月 31 日（水），本部棟第一会議室において，ICT 教育基盤センターと教職キャリアセンターの共同主催による FD 集会を開催しました。教職員・本学学生・公立学校教員・一般から 59 人が参加しました。

講師に株式会社 LoiLo ICT コンサルタント湊谷洋平氏をお招きし，ロイロノート・スクールを使ったワークショップを行いました。ロイロノート・スクールはすべての授業で使える「思考力」「プレゼン力」「英語 4 技能」育成ツールです。自分の考えや写真・動画などをカードとして簡単に作成することができ，それらを先生に提出したり生徒同士で共有したりすることも簡単にできます。昨年度もロイロノート・スクールのワークショップを開催しましたが，今年度は教師の立場から授業で利用するためのワークが新たに加って，より発展的な内容での開催となりました。昨年度に引き続いての参加者も複数いました。



FD 集会の様子

ワークショップでは，初めに操作方法の練習も兼ねて，自己紹介用の発表資料を作成しました。カメラで自分の顔を撮ったり，文字を入力したり，Web 検索をしてキャプチャしたりすることで新しいカードを作成しました。それらのカードを指でつなげていくことで簡単に発表資料の作成ができました。また，講師への提出や，提出された参加者のカードの講師による一斉配布などの体験も行いました。動画の提出もできることから，英語の自己紹介を提出する課題も体験し，さまざまな教科での活用の可能性が示されました。



グループワークをする参加者

次に，シンキングツールを使う活動を行いました。座標軸を使って名古屋のラーメン店の分類を行い，グループで話し合っって新しいラーメン店を提案するワークを実施し，最後にグループで考えた意見を参加者全員で共有しました。

その後，今回のメインである，教師役の体験を行いました。グループを 1 つの教室に見立て，教師役と生徒役に分かれて課題の作成や提出を自由に行いました。教師役は自由なテーマで課題を出題し，グループでの楽しいワークとなりました。

来年度より小学校において新学習指導要領が全面実施となります。学部・大学院でのアクティブ・ラーニングの実践に加え，主体的で対話的な深い学びを実現できる教員の養成に向け，「主体的・協同的な学び」を実践できる教員の養成プロジェクトでは，引き続き FD の企画や取り組みを進めていきます。

（教職キャリアセンター・FD 部門・「主体的・協働的な学び」を実践できる教員の養成プロジェクト
情報教育講座 准教授 齋藤ひとみ）

（企画課 教育企画室教育企画係）

F D 集会の様子

【司会（齋藤ひとみ氏）】 では、時間になりましたので始めさせていただきたいと思います。

I C T教育基盤センター・教職キャリアセンター共催全学F D集会ということで、授業支援アプリ「ロイロノート・スクール」を使ったワークショップを始めていきたいと思います。

司会は、情報教育講座の齋藤が務めさせていただきます。

まず、開会の挨拶ということで、教職キャリアセンター長の西淵理事、お願いいたします。

【愛知教育大学理事・教職キャリアセンター長（西淵茂男氏）】 こんにちは。

お忙しいところをお集まりいただきましてありがとうございます。

この共同開催全学F Dは、昨年と同じ内容というか、テーマでやらせていただきました。ちょっと昨年、参加された方ってどれぐらい見えますか。お手をお挙げいただけますか。かなり見えますね。ありがとうございます。

今回は、3月に新たにもう少し機能が加わったものを御紹介していただいたり、シンキング機能、それから後期の授業に先生方が積極的に取り入れていただきたいということで、すぐに役立つような形でワークショップをさせていただくことで、ことしも昨年に引き続いて、LoiLo のほうから澁谷さんに来ていただきまして、講師を務めていただきます。わからないことは初めての方でもどんどん質問していただいて結構ですので、学習を深めていただけたらと思います。

それから、きょう、海外の招聘教員の方のF Dと時間が重なってしまいまして、大変申しわけありませんでした。こっちへ来ていただいた方は、ここの内容をしっかり深めていっていただきたいなというふうに思っております。

短い時間になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。（拍手）

【司会（齋藤ひとみ氏）】 ありがとうございます。

では、早速ワークショップのほうへ入っていこうと思いますが、簡単に昨年も来ていただいているんですけども、講師の紹介をさせていただきます。

澁谷洋平氏ということで、簡単に私のほうで持っている情報を読ませていただきますと、大学卒業後、一旦は研究に従事する。その後、念願の地元公立中学校理科教員になり、サッカー部も指導。現場から一歩引いた活動を決意し、株式会社エデュケーションアルネットワークを経て現職ということで、現在は、ロイロノート・スクールを通して日本全国の教育改善の支援を行っているということです。

では、澁谷さん、よろしくお願いいたします。

「授業支援アプリ『ロイロノート・スクール』を使ったワークショップ」

講師：澁谷 洋平氏（株式会社 LoiLo ICT コンサルタント/営業）

【株式会社 LoiLo ICT コンサルタント（澁谷洋平氏）】 皆さん、こんにちは。

LoiLo の澁谷と申します。きょうは、よろしくお願いいたします。

今、御紹介いただいたとおりで、もともと教員をやっていたんですけど、今、この会社で日本全国を駆け回らせていただいております。

実は、きのうからこっこのほうに来ていて、きのう、お隣、三重のA市のほうにお邪魔したんですけど、A市さんがことしから小学校全校 iPad とロイロノートの導入が決まりまして、研修会をやっていました。去年に来たときは、導入している自治体さんが余りこの辺はなかったんですけど、おかげさまで、B市だったり、C町だったり、ちょちょことD市もそうかな。公立小・中学校もロイロノートを導入していただき始めているところも、ぜひこれを機会にさわって、教職課程での利用、ロイロノート・スクールは無料ですので、秋以降もいろいろと試していただきたいなと思っております。

本日、こんな感じで考えさせていただいています。

最初、簡単にロイロノートの基礎・基本、少しだけ私のほうが先生役でやらせていただいて、皆さんは生徒役で入っていただきます。皆さんは生徒役をやってもらうんですけども、きょうは皆さん、何をやっても構いません。というのは、立ち歩き、カンニング、おしゃべり、何でもオーケーです。ですので、お互いゆったりとした気持ちで体験してもらえればなと思っています。もちろん飲み食いも自由なので、熱中症には気をつけていければなと思っています。

その後で、昨年、御要望いただいた先生の機能も試してみたいという要望があったので、ことしはその後グループで先生の機能も順番こに試していただこうかなと思っています。

その後、最後、大幅にバージョンアップしましたシンキングツールを使ったワークショップ、結構てんこ盛りで盛りだくさんなんですけれども、一つ一つやらせていただきたいなと思っております。

あと、きょうはE先生、同じTシャツを着ているんですけど、去年のワークショップも参加していただいて、今もう LoiLo の手下ぐらいの、言い方が悪いですね。きょうは一緒に手伝っていただけますので、何か困ったら手を挙げていただいたら、私とかE先生とか、回らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

じゃあ、早速ロイロノート・スクールでログインしていただきたいんですけども、今お伝えしたとおり、最初は皆さん、生徒のアカウントでログインをしていただきたいと思うので、学校ID、一番上のところが「a i c h i e d u」で、ユーザーID、パスワードのお手元の紙があるはずなので、皆さんそれぞれ数字がばらばらになる形で、相談し合いながらログインをしてください。生徒のほうですね。それぞれ番号がばらばらになるようにログインをお願いいたします。

（端末操作）

早々にログインできた方は、周りで困っている方がいたら、ぜひ助けていただいて、助け合いの精神でお願いできればと思っています。

グループのメンバー全員ログインできたところは、まだないかな。

ネットワークの接続できませんとか出たら、手を挙げていただければ。

問題なくグループの皆さん、ログインができたよというところは、ログインすると左上に日付プラス全体会というのが表示されますので、問題なくログインできたところは、左上の「日付プラス全体会」をタッチして、「ノート

を新規作成」をタッチして、決定までお願いいたします。

問題なくログインできたグループ、「ノートを新規作成」で決定までできたら、左側のカメラとかテキストとかいろいろさわるとカードを取り出して遊べますので、自由にカードを出して落書きとかして遊んでいてください。

皆さんが問題なくログインするところまでちょっと時間を置きますので、ログインして、「ノートを新規作成」までできた方は、自由に左側のカメラとかテキストとかさわって遊んでいてください。

ログインがまだできていないよという方はいらっしゃらないですかね。大丈夫かな。では、じゃあ皆さんログインできたっぽいので、ぼちぼち進行していこうかなあとと思います。

今、みんな多分準備できたと思うので、ちょっと補足しておきますね。今、私だけ先生でログインしていて、皆さんは生徒のアカウントでログインしている状態です。今、ちょっとびっくりしたと思うんですけど、先生でログインすると、右側に操作コマンドが出てきて、今やったのが操作ロックというボタンですね。もう体験していたとおりで。子供たちがちょっと聞いていないなというときに、ロックボタンをぼちっと押せば、今みたいにあらとなります。というので、先生と生徒で微妙に機能に違いがあるんだよというのをわかっていただければと思います。

ロイロノートは何ができるのというので、きょう、ざっくり3つに絞ってやらせていただこうと思っています。

ロイロノートは、簡単にスライドをつくることができるというのと、先生と生徒のやりとりが簡単にできるというのと、あとこの春からシンキングツールというのが完全に実装されましたよというので、きょうは1、2、3と満遍なくやらせていただこうと思っています。

じゃあ、早速皆さんに最初にやっていただこうと思うのが、すてきな笑顔の写真を撮影し、落書きをして先生に提出をしていただこうと思います。いいですか。もちろんすてきな笑顔は御自分のすてきな笑顔ですね。なので、今もしカードでいじっている方とかは、左の矢印マークとかをさわれば、最初の画面に入って紺色の画面に戻れますので、背景が紺色の画面まで来たら、左上の「カメラ」をタッチしていただいて、御自分の顔を撮りますので、iPad 右側の白丸の上の反転マークをさわって、すてきな笑顔の写真を撮影してください。盛りたい方は、斜め上から撮ると盛れます。女子高生はみんなこうやって撮っていますね。下から撮ると、かなり怖い顔になります。

撮れたら、右下の「写真を使用」とやると、撮った写真がカードになって出てきます。写真を撮ったら、右下の「写真を使用」ですね。出てきたこの写真のカードを指でぽんとさわると全画面になって、ペンのマークをさわると、すぐに落書きができますので、ちょっと落書きをして遊んでみましょう。

自由に落書きしてみてください。ペンのマークをもう一度さわると色とか種類が選べます。

(端末操作)

落書きができた方は、ぼちぼち提出をしていただきたいと思います。

じゃあ、前で提出の仕方を簡単に解説だけしておきます。

提出するとき、一旦落書きが終わったら、左上の矢印マークをさわって、この画面に来たら、カードを指で左の提出にひょいっと投げ入れます。カードを指で提出のところにひょいっと持って行って、指を離して、背景ピンクのすてきな笑顔をタッチしたら提出完了です。

ぼちぼち皆さん、一旦提出までお願いいたします。

提出のやり方がわからないという方は、周りで多分助けていただけるんじゃないかなと。大体大丈夫ですかね。皆さん、なかなかすてきな作品が多いですね。

もう既にやられている方もいたんですけど、提出ができた方は「送る」とやると、こんな感じで公開処刑されますので、お気をつけください。

提出ができた皆さんは、今度は「提出」をタッチしていただいて、「すてきな笑顔」というところをタッチしていただくと、先生と生徒で見え方が違うのがわかると思います。生徒はふだんカンニングできなくなっていますね。よく課題とかができたら、写真撮って提出してねという使い方が多いので、ふだんは生徒はカンニングできません。ただ、きょうみたいに別に手元で見てもいいよというときは、先生が共有をしてあげれば手元で見ることも可能です。こんな感じで、先生が共有をかけてあげれば、ほかの人を見られるようになりますよ。なので、ほかの人の作品を見ながら考えを深めていくみたいなこともできますねと。

それから、あと提出していただいた後にできることがいっぱいあるんですけど、とりあえず1個だけ紹介しておきます。

提出してもらった後に、じゃあ、これとこれとこれとこれと比較してみようとかいうときですね。1、2、3、4「比較開始」とやると、こんな感じで先生がピックアップしたものだけ比較して表示してあげることができますよ。先生が見ている画面は配信することもできますので、今先生が配信しています。ちょっとモニターが小さいとか、後ろの子が見えにくいというときは、配信してあげれば、生徒の手元でここを見てくださいと、すてきな眼鏡ですねとか。これもなかなかかわいらしくできていますねと、これはなかなかいいですねとか、こんな感じで、先生がここを見てねみたいなのは、先生側から生徒の回答を使って解説してあげるなんていうこともできますよ。もちろん、先生が終了しちゃえばもとに戻ります。というので、簡単に提出して比較して解説とかできますよというのがウオーミングアップでした。

ここからは、実際に実践に即した感じでやっていきたいと思いますので、もしこの画面を見ている方は、左上の戻るボタンをタッチして、もう一度戻ってください。

そうしたら、今度、皆さんに次の課題、立ち歩いてもらって構いませんので、掛け算であらわせそうなもの、写真撮って、補助線を書いて提出してもらいたいと思います。例えばこんな感じですね。小学校の算数でよくやりますね。掛け算の概念ですね。これは9掛ける3であらわせますよみたいなのを皆さんも立ち歩いてもらって、写真撮って、できたらまた提出をしてみてください。よろしくお願いします。

(端末操作)

できた方は、また提出をお願いします。

続々と来ていますね。いろいろありますね。

もう提出できた方は暇だと思うので、ほかのウェブとか地図とか、いろんなまだ説明していないカードをさわって遊んでいてもらって大丈夫です。

じゃあ、大分集まってきましたので、一応きょうの目的は、あくまでもロイロノート・スクールの使い方になれていただくことなので、算数の掛け算ができるようになることではありませんので、ちょっとぼちぼち次へ行きますね。まだの方もちょっと済みません、次に行きます。

例えば、じゃあこうやって出してもらったやつで、ああ、これはなかなかおもしろそうだから、発表してほしいなという場面があると思うんですね。そんなときは、先生が指名して発表させることができます。

ちょっとやりますね。

114番さん、ちなみにどちらですかね。ああ、E先生。完全にたまたまですね。簡単にどういうふうに行ったか、ペンで説明してもらってもいいですか。

【E氏】ここに並んでいる椅子を見たときに、ちょっとここだけ1個余分に4があったので、ちょっとここだけ嫌だなと思って、画面を消しましたけれども、この1つ、一くくりが3つでしたので、それがちょうど4列目までは並んでいましたので、3掛ける4で12という掛け算ができるかなと思いました。以上です。

【株式会社 LoiLo ICT コンサルタント（澁谷洋平氏）】 ありがとうございます。

今、おわかりのとおり、発表する生徒さんが今度操作することができるので、わざわざ前に来て席がえとかする必要もないというのは結構便利かなと思っています。もちろん先生が終了しちゃえば、またもとに戻りますよと。

続いて、じゃあ次、行きたいと思います。

今度、皆さんに試してもらいたいのは、俳句を朗読、音声を録音して先生に提出をしてもらいたいと思います。音声を録音して提出することもできます。

今から皆さんにこちらのカードをお送りしますので、有名な俳句たちですね。今から皆さんにこちらのカードをお送りします。届いたら、そのカードをタッチしていただいて、上の赤丸のマイクマークをさわって、録音ボタンを押してからしゃべり始めると、音声は録音できますので、どれでもいいです。1つ選んで録音を試してみてください。画面に向かってしゃべれば大丈夫です。上の赤丸のマイクボタンをタッチして、録音ボタンを押したら録音が始まります。

（端末操作）

録音して提出もできた方は暇だと思うので、何かいろいろさわって遊んでいてもらって大丈夫です。

一応先生側で幾つか再生もしてみます。

「草臥れて 宿かる頃や 藤の花」

もちろん、これ提出物なので、先生は丸とかコメントをつけて、さっとその子に返却もできますよと。

「五月雨を 集めて早し 最上川」

いいですね。ばっちり。

「閑かさや 岩にしみ入る 蟬の声」

同じように音声も簡単にやりとりができますよと。これは、先生とかが間違えて削除しない限り、データはずうっと残り続けますので、例えば俳句、最初は中身を知る前に読んだときと、中身を知ってから読んだとき、比べてみようとか、そんなこともできたりしますね。

あと、朗読とか音声録音は、一番英語の授業でよく使われていますね。スピーキングテストをロイロノートで回収しちゃうというのも結構あったりします。

そうしたら、時間も余らないので、今度は動画のカードもつくってみたいと思います。

ペアになっていただいて、3人のところはうまく順番こに動画ですね。簡単な英語で自己紹介をしていただきたいと思います。名前と好きなものと何か適当に一言でいいです。どうしても英語が嫌だという方は日本語でも構いませんので。動画のカードもつくってみましょう。カメラをさわってビデオモードにしたら、左側の「ビデオ」をさわって、白丸が赤丸になったら動画モードですので、順番こにお互いに動画の自己紹介もし合って、カードがきたら、また提出をお願いいたします。

（端末操作）

こんな感じで動画も簡単にやりとりができますので、ただ、今皆さんちょっと緊張したんじゃないかなと思うんですけど、実際生徒さんたちもやると、こういうふうに動画を撮ってみようという、本番さながらになるので、なかなかだんだん度胸がついていくんじゃないかなと思っています。

そうしたら、スライドをつくるというのを紹介しておきたいと思います。

今、皆さん、カードがお手元に何枚かある状態だと思うんですけども、ロイロノートでできる機能3つのうちの簡単にできる1つがスライドをつくるというので、例えば……。何か送られてきたぞ。

ありがとうございます。せっかくなので、これも使いましょう。

スライドをつくりたいとき、カード右上の黄色い矢印を指でさわって、これをてんてんてんというのを引っ張って行って、つなげたいカードのところで指を離します。そうすると、カードが矢印でつながりますよと。つながった状態でカードを開くと、これでもう右にずっと行けば、スライドとして簡単にプレゼンができますよと。つながりを解除したいときは、伸びている矢印をぽんとさわれば、またばらばらになりますので、やっぱり順番を変えたりとか、割り込んだりとかができますよと。簡単にさっささとスライドがつくれます。

今、もう見ていただいておりますのとおり、ほかの人から送られたカードもさっさとつなげますので、グループ学習とかお互いに調べ合った内容をお互いに送り合っ、じゃあ全体でどういうふうな順番でつなげて発表しようかなみたいなところまで持っていくのは簡単にできるような仕様になっています。

ここまでのところは、何か聞いておきたいこととかありますか。これってどうでしょうか。

【司会（齋藤ひとみ氏）】 スライドにした状態を提出することってできるんですか。

【株式会社 LoiLo ICT コンサルタント（澁谷洋平氏）】 可能です。

じゃあ、せっかくなので、つなげたら提出をしてもらいましょうかね。スライドもちろん可能です。このままひょいっと持っていったら大丈夫ですし、先頭左のマイナスで畳んでから提出でも構いませんので、どちらでも提出できます。

スライドでつなげて提出してもらおうと、先生側では何分の何枚というふうに何枚つなげているかもぱっと見で見られるようになっています。こんな感じで、さっささと全部見られますよと。

（動画紹介）

同じつなげたものももちろん簡単に提出とかできますよというので、簡単にやりとりができて、スライドもつくれますよと。

そうしたら、じゃあシンキングツールも一個だけ試してもらってから、次の先生の機能をグループで試すに行きたいと思います。

今から皆さんにはこちらの課題に取り組んでいただきたいと思います。

グラフを見て、どれが名古屋かな、どれが札幌かな、どれが屋久島かなというのを考えていただいて、もちろん何で選んだかという根拠も右側の「なぜならば」に記入してもらいたいと思います。というので、ちょっと今から送りますね。

ちょっと待っていただいたら届くと思うんですけど、改めてこのシートが届いたらやっていただきたいのは、グラフを見ていただいて、どこかな、名古屋かな、札幌かな、屋久島かなと。真ん中に置いていただいた後で、「なぜならば」というところですね。左のプラスボタンをさわれば、またカードを取り出したりだとか、ペンで直接書いてもらっても構いませんので、その根拠も書き込んで提出をしていただきたいと思います。

きょうはカンニングも立ち歩きも何でもありなんで、とりあえずちょっと考えてみてください。

（端末操作）

できた方は、また提出をお願いいたします。そのままシートごと提出してもらって大丈夫です。

この課題は小・中学校向けですけど、一応また改めてきょうの目的をお伝えしておくと、あくまでロイロノート・スクールの活用イメージをつかんでいただければオーケーですので、課題ができた、できないとか、正しい、間違っているというのは気にしないでください。

じゃあ、一応正解を言っておこうかな。一応正解はこれです。グラフをよく見ていただくと、このグラフですね。グラフの横軸をよく見ていただくと、一番上のやつだけ降水量が抜群に多いということで、そこが判断の基準ですね。皆さんにここでお伝えしておきたいのは、この課題を私がつくった時間は多分2分ぐらいです。2分ぐらいで

さっさっさつとつくって、今配付して、皆さんに考えてもらっているというので、結構準備がすごい楽。しかも、絶対にこういうふうなチャートを使うと、子供たちも自然に必ず考えるという習慣が身につくので、ぜひこんなふうなことは試していただけるとありがたいかなと思っています。これを高校とかでやるんだったら、さらにこのグラフを読み解いた上で、ケッペンの気候区分に合わせたら何であらわせるのかとか、そういうところまで踏み込んでいくと、またおもしろいんじゃないかなと思っています。

じゃあ、一旦、先生役は、私から皆さんのグループごとにボタンタッチしたいと思うので、この後、グループで先生の機能を使って、皆さんが先生役で課題を配付して提出させるとかを試してもらいたいと思います。

なので、最初、皆さんにグループで先生の機能を試す方を決めていただきたいと思います。1人か2人まで、先生の機能を試せますので、グループで先に先生の機能を試す方を決めてください。決まったら、先生の機能を試す方は、右側のワークショップ何ちゃらというところをさわればログアウトができますので、先生役をやる方だけ一度ログアウトをして、お手元の先生のほうのIDでログインを再度お願いいたします。

(端末操作)

先生役をやる方、ログインまで大丈夫そうでしょうか。先生役をやる方で、まだログインできていないところがありますか。皆さん、大丈夫そうですね。

そうしたら、生徒役をやる皆さんの番です。生徒役をやる皆さんは、今この画面から左上の「戻る」を1回、2回戻ってください。この背景紺色の画面から左上「戻る」ボタンを1回、もう一度戻っていただいて、左側にこんな感じで見られるところまで戻ってください。

そうしたら、今度は皆さん、最初、全体会を選んでもらいましたけれども、先生役も生徒役もどちらも今度はグループ学習というところをタッチしてください。先生も生徒も「グループ学習」をタッチして「ノートを新規作成」「決定」までお願いいたします。

そうしたら、先生役をやる方は、右側に灰色いぼちが出ていると思うので、右側の灰色いぼちをタッチして、操作ロックができるかどうか試してみてください。ロックできない生徒は、多分ほかの授業を選んだりしています。大丈夫そうですね。

そうしたら、じゃあ先生役の方、最低限試していただきたいのが、何でもいいので課題をつくって、生徒役に送って提出させるというのを試していただきたいと思います。ですので、先生役をやられる方は、どれでもいいです。テキストとか何でもいいのでタッチしてカードを出していただいて、生徒役に答えさせたい課題をつくってください。御自分の専門の難しい課題でもいいですし、好きな食べ物はとかでもいいですし、私だったらこういう感じかな。何でもいいです。大喜利でもいいです。何でもいいので、先生役の方は、まず生徒役に聞きたい課題をつくってみてください。生徒役の皆さんは、先生の指示に従うか、指示がなければ遊んでいて大丈夫だと思います。

(端末操作)

先生役の方は、課題ができたら「送る」で「全員」と。もう一度、先生役の方のやることですね。先生役の方、課題をつくります。課題がつくれたら「送る」で「全員」を選びます。課題を送った後、先生役の方は提出をさわって、新しい提出箱をつくってあげてください。箱の名前を変えたいというときは、真ん中上の「提出物A」をさわれば、箱の名前が変えられます。先生役の方は、提出してもらった後は煮るなり焼くなり好きにしてもらって大丈夫です。

きょうは、先生役1人目の方がある程度できたら、タブレットを交換こする形で、ほかの方もぜひ先生役を試してみてください。きょうは、1人目の方が先生役を試せたら、タブレットを交換こして、ほかの人もぜひ先生の機能を試してみてください。

(端末操作)

じゃあ、ぼちぼち次に行こうかなと思います。

そうしたら、一応最後の部ですね。シンキングツールを使ったワークショップのほうにぼちぼち移りたいと思うので、今先生のIDでログインされている方、お手数なんですが、また一度ログアウトをして、生徒のIDで入り直してください。今、先生のIDで入っている方、また右上のところをさわったらログアウトできますので、また改めて生徒のIDで入り直してください。ほかの方、先生のIDじゃなくて生徒のIDの方もまた左上の「戻る」「戻る」で、また全体会のほうで「ノートを新規作成」をお願いします。

今、御質問とかもいただいたので、作業しながらで構わないので、いただいた質問で全体で回答しておく、データとかはどうなっているんですかというお話で、ロイロノートはインターネットさえつながっていれば、自動的にデータはクラウド上にアップロードされています。クラウドシステムなので、御自分のスマホだったりとか、パソコンとかからでも、皆さん、御自分のIDとパスワードさえわかっていれば、アクセスして作業は可能です。先生が使う分のクラウドのデータの容量制限なんですけど、一切ありません。完全無制限の容量保存が可能ですので、きのうA市へ行行ったときも、既に使っている先生がおっしゃっていました。何でもかんでもロイロに入れておくと。私は、うん、それはしないでくれとは言えませんが。幾ら入れてもらっても構いません。A市はワードとかパワポでつくったものもPDFにすれば全部ロイロノートは取り込んで使えるので、全部PDFにして取り込んだりとか、動画とか、あと修学旅行中の写真とかも、そのままiPadを持って行って、修学旅行へ行行って、ロイロで全部写真を撮って、生徒の集めたものを全部自分のところのロイロノートのクラウドのところに保存しておくというようなこともされていました。

じゃあ、皆さん、全体会でノートを開けていますかね。大体開いているかな。改めて、生徒の皆さんは、グループ学習じゃなくて、全体会というほうでノートを開いていただきたいです。今、右上に日付プラス全体会と見えていれば大丈夫です。大丈夫そうですかね。

そうしたら、今度、シンキングツールを使ったちょっとしたワークショップを試してもらいたいなあと考えております。

私、ラーメンが大好き過ぎて、日本全国飛び回りながらラーメンをいろいろ食べたりするんですけど、自分でつくなんてことも最近やっています。これ全部自分でつくっています。スープから何から具材から、これをつくったときは7時間ぐらいかな。これはもっとかかりましたね。8時間、9時間ぐらいやっていますね。なので、皆さんにゴリ押しで申しわけないんですけど、最後、ワークショップをやらせていただくんですが、皆さんはラーメンコンサルタントだとして、名古屋の近隣に出店するとしたら、どんなふうなお店を出店することが最適だと考えるかという提案をしていただきたいと思います。いいですか。最終的には、提案書をまとめて、発表ができるようにまで持ってきていただきたいと思います。

ただ、とはいっても、なかなかそんな簡単に考えられませんよと言われると思いますので、まずは今、この愛知県内で人気のラーメン店の特徴を分類してみていただきたいなあとと思います。調べてまいりました。愛知の人気のラーメン店、たくさんありますね。こちらを今、皆さんに送りましたので、届いたら、皆さんにまずは現状の分類をしていただきたいと思います。座標軸を使って分類をしていただきます。

届いた後、やることを説明します。

届いたら、このシートをぼんとタッチしていただいたら、右上に「・・・」とありますので、右上の「・・・」をタッチして「ツールを切り替え」です。「ツールを切り替え」で下のほうにちょっと行くと、座標軸というのがありますね、「十字の座標軸」。これを選択すると、背景がさっと切りかわりますので、座標軸で分類をしてください。

分類の観点、左右の軸だけは統一したいと思っています。右側は「こってり」、左側は「あっさり」、縦の軸は御自分たちで考えてもらって大丈夫です。座標軸にしたら、右側がこってりっぽいな、左側はあっさりっぽいな。縦軸は御自分で観点を考えて分類をしてみてください。そのラーメン屋の情報を詳しく知りたい方は、ダブルタップすれば詳しい情報も見られます。

(端末操作)

もう早々に分類ができた方は、また提出をしていただければと思います。

ぼちぼち提出も始まっているので、お時間も限りがあるので、まだ分類中だよという方もいらっしゃるかと思うんですが、グループで意見交換をしてもらいたいと思います。人気店を見て分類をしていただいて、愛知はどんなふうなラーメン屋さんが人気なのかなあというのを少しお話ししながら、どんなふうな特徴がありそうかなというような意見交換をしてみてください。こんな特徴がありそうだなというのは、ぜひロイロノートテキストカードでメモがとれますので、メモとかもとりながら、どんなふうな特徴がありそうかなというのをグループで意見交換してみてください。

(意見交換)

一応、皆さん、最終的にはグループで提案資料を1つつくってもらえるところがゴールですので、グループのゴールは最終的に自分たちがつくるラーメンを考えていくことがゴールですので、それに向かって準備をしていただければと思います。

そうしたら、じゃあこの後は、グループで相談し合いながら作業を進めていただきたいんですけども、とはいえず、なかなか特徴って見えにくいなあと思うんです。何でかという、愛知の中でしか考えていないからですね。

今度はウェブとかスマホとかで調べても何でもいいので、これは今大宮バージョンになっていますけど、全国でどんなふうなラーメン屋が今ブームが来ているんだとかを調べ合いながら、じゃあ、こっちの名古屋、愛知のほうではどんなふうなものが今人気になっているのかなというのを比較検討しながら考えていただきたいなと思っています。

今、こちらのベン図のカードを送りましたので、まとめていくタブレットは代表者1名分で構いませんので、こちらのベン図を使いながら、どんなふうな特徴があるのかなというのを考えていっていただきたいと思います。

今、皆さん、お互いにカードを送り合える状態になっていますので、1人、まとめる係で、もう2人は調べる係とかで、ウェブのカードとかをさわって、いろいろ調べたりとかしながらカードをつくらせて、お互いにこのつくったカードを送り合える状態になっていますので、そこを一応説明しますね。

このベン図でまとめていくタブレットは代表者1名分で構いません。ただ、ほかの方もサポートをしていただきたいので、ほかの方、例えばウェブのカードとかで全国はこんなふうなラーメンが人気なんだとか、調べ合ったものをぜひ代表者のタブレットに送ってあげて、代表者というのは、このベン図をまとめていく人ですね。

こんな感じで代表者のタブレットでベン図を使って、改めて、じゃあこちらの愛知のほうではどんなふうな特徴がありそうかというのを調べてみてください。スマホで調べてロイロのテキストカードにまとめるとか、何でも構いませんので、自由に調べて比較とかをしてみてください。

(端末操作)

ある程度全国のこともわかってきたら、ぼちぼち提案をまとめていっていただきたいなと思います。

時間が大分迫ってきていますので、最後、ピラミッドチャートにまた切りかえて、主張をまとめていただきたいなあと思っています。

最終的にグループで話し合っていたきながら、じゃあどんなふうなラーメン屋を出すのがいいのかなというの

を御自分たちのグループの主張をぜひまとめに入っていただきたいなと思っています。

グループで代表者1名で構いませんので、意見交換しながら提案をまとめに入ってください。

ばちばちお時間なので、何となく提出をしておいていただけるとうれしいです。

じゃあ、もう時間が差し迫ってしまっているんで、まだのところもあると思うんですけども、時間が大分もうないので、少し最後補足とかだけして締めさせていただこうかなと思います。実際の授業は、最後発表してもらったところまでやれればと思うんですけど、きょうはちょっと時間の兼ね合いもあるので、ほかのいろんなのを少し見るぐらいにしておいて、このグループは一風堂をパクろうという、なかなか大胆不敵な御提案ですね。それから、なるほど、名古屋といえば寿がきや。なるほどですね。

では、ちょっと最後補足だけ締めておこうかなと思います。今、皆さん、いろいろワークもさせていただいたんですけども、こういったツールがない中で今の作業をやらせようと思ったら、多分3時間ぐらいあってもできないかだと思いますね。さらに言うと、先生の事前準備がめちゃくちゃ大変過ぎて、多分やろうと思わない。自分だったら、多分、教員のころもここまでやらないだろうなと思っています。今、愛教大さんでは、とりあえずアカウントを発行して、試せる時間がありますので、ぜひ使ってみていただきたいなというのと、あと今、現場でも、最初に口頭でお伝えさせていただいたとおり、私立学校もそうですが、今、小・中学校も公立学校のほうもこのあたりが大分入ってきていますので、現場で即使えるようにというので、御活用いただけるとありがたいなと思っています。

最後、補足とアンケートだけ。

あと、来週8月5日月曜日なんですけど、ドコモさん主催でセミナーがありまして、申込締め切りが前日の夜中まで大丈夫だと言っていたんで、きょうまでになっていますけど、実際には締め切り前日の夜中まで大丈夫らしいので、ぜひ申し込んでいただけるとありがたいなと思っています。午前中がその導入に向けての話ですね。全国から先生方もお招きしてお話をさせていただきます。きのう行ったA市とかもそうですね。登壇していただきますね。午後のほうは、ロイロノートの体験会というので、きょうは私が講師役をやらせてもらったんですけども、8月5日の午後は全国で実際に現場でばんばんロイロノートを使っている方々によるワークショップなので、私よりもっとよりリアリティーがあるものを体験できるんじゃないかなと思っています。

今、F市さんが市を挙げて、全校に最低3人に1台以上のiPadというのが配付されています。F市は政令指定都市なんで、ウン十億というお金が動いています。それぐらい本気でF市は教育改革をやっているというふうにやっていますね。あと、G小学校さんというのは東京の私立小学校さんです。1人1台iPadを導入して、小学校で日々ロイロノートも使っていただいていますので、ぜひこちらをお申し込みいただけるとありがたいなと思っています。私も一応午後からは参加予定です。

あと、最後、アンケートのほうを皆さんにお送りしますので、今アンケートも送らせていただいたので、届いたらダブルタップしたら回答できますので、ぜひアンケートもお答えいただければありがたいなと思っています。

こんな感じ大丈夫ですかね。

あと、もしよかったら、興味を持っていた方、名刺交換とフェイスブックから友達になってもらえると嬉しいなと思っています。去年、おかげさまで、E先生とこちらでお会いできて、土曜日にも一緒にいて、きょうもいて、来週も多分お会いする。ぜひいろいろつながっていただけると嬉しいなと思っています。ちょっとお時間過ぎてしまいましたけれども、私からは以上で締めさせていただきたいと思います。どうも長時間ありがとうございました。(拍手)

【司会（齋藤ひとみ氏）】 澁谷先生、ありがとうございました。非常に楽しくて、私も司会なんですけれども、時

間を忘れて楽しんでしまいました。

今、アンケートをやっていると思うんですが、多分すぐダブルクリックするとページが開くというような形になっていると思います。

そうしましたら、閉会の挨拶ということで、今回、ICT教育基盤センターとの共催ということで、教育基盤センターのICT教育支援部門長の江島先生から閉会の御挨拶をお願いしたいと思います。

【ICT教育基盤センターICT教育支援部門長（江島徹郎氏）】 こんにちは。

澁谷先生、どうもいろいろとありがとうございました。

それから、斎藤先生を初めとするアクティブラーニングのプロジェクトの皆さん、それから企画課の皆さん、今回の貴重な研修を御準備いただきましてありがとうございました。もちろん、参加した皆さんも、きょうは60名の方が参加してくださったそうです。非常に有意義な研修になったのではないかなというふうに思います。

きょう一番の成果は、ひょっとすると、我々はラーメンの世界について最も詳しくなったのではないかと。澁谷さんは博士かもしれない。我々もバチェラーぐらいにはなったかもしれないということをちょっと思ったりします。

実は、私たちはロイロノートでこんなことをやってきている中で、少し私自身が感じたことと言えば、確かにラーメンに詳しくなったかもしれない。後ろのほうで見せていただいていると、あそこのラーメンはどうだとか、ここのラーメンはどうだとか、食べ方はどうだとか、それからつくり方はどうだとか、商売の経営のモデルはどうだとかいう話が盛り上がっているというのがありますね。もちろん、私たちは多分次の授業をするときには、多分ラーメンじゃなくて、先生方の御専門の内容で学生さんに伝えるべきことがあると思いますので、こうしたツールを活用して伝えていくのではないかなというふうに思います。

ICTを使うと、時に対話が促進されないのではないかと、ネットの中だけで完結するのではないかという議論があるかと思いますが、今、ちょうどまさに私たちが体験したように、グループの中でこうして対話が促進されて、そしていろいろなものが共有できて、知識が共有できて、協働的な学びができてということは非常にいいのではないかなというふうに思います。

先ほど、ちょっとお話があったロイロノートさんのこれなんですけれども、これ実はよく見ていただくと、後ろのところに基調講演なんですけれども、梅田恭子先生がここにいますけれども、梅田恭子先生が基調講演をされますので、その点でもぜひ行っていただけるといいのかなというふうに思います。

何だかんだでみんな頑張っているいろいろとやっているの、なるべくいい教育ができるように頑張りたいなというふうに思います。本当にきょうはいろいろとありがとうございました。挨拶は以上です。ありがとうございました。（拍手）

【司会（斎藤ひとみ氏）】 江島先生、ありがとうございました。

最後にALプロジェクトにかかわって、きょうのタブレットでロイロノートというのを実際に授業で活用してみたいとか、そういう場合にちょっと試してみたいような場所として、今ALルームというものがオープンしております。夏休み中もこの時間で開催しておりますので、後ろにいる正木さんという方が担当していただきますので、御興味がある方は、ぜひ学生さんも先生もウェルカムということで、よろしくお願いします。機器の貸し出しに関しては、ALPJのホームページからこちらでも予約できるようになっておりますので、よろしくお願いします。

もう一点、きょうもお手伝いの学生さんがいましたけれども、授業中のロイロノートの使い方のお手伝いだったとか、あとは機器の整備などをしてくれる学生支援員を同じく募集しております。今は4年生が主になっておりまして、来年、危機的な状況でありまして、もし周りの先生のところの学生さんで、こういうことに興味がありそ

うな方がいれば、お知らせいただいてというふうに思っております。

まだチラシって余っていますか。

もし、先生のほうで学生に渡したいからというようなことがありましたら、後ろのほうに言っていただければチラシをお渡しできますので、ぜひこちらのほうもよろしく願いいたします。

では、以上で終了となります。長時間ありがとうございました。(拍手)